

ペタンク日本代表・加藤さん(川崎医福大)

アジア大会メダル誓う

「力みすぎず戦いたい」

川崎医療福祉大(倉敷市松島)1年加藤春沖さん(18)岡山南区Ⅱが、18〜22日に

ベトナム・ハノイで行われるペタンクのアジア選手権大会に日本代表として出場する。正確な投球で相手のボールをはじき、目標球から遠ざける技を得意としており「好成绩でメダルを獲得したい」と意気込んでいる。

ペタンクは、目標球に向けて金属製ボールを投げ、相手より近くに寄せたボールの数で



ペタンクのアジア選手権大会に出場する加藤さん

得点を競う。加藤さんは5月、関西在住の大学生、社会人と組んだ4人チーム

の1員として国際大会選考会(京都府)の1次予選を突破。6月に長野県で行われた2次

は県外大会にも参加してきた。中学1年で初めて世界大会に出場

予選では8チームによるリーグ戦を6勝1敗で1位通過し、アジア選手権への切符を手にした。成人の部に出場する。

ペタンクを始めたのは小学3年の時。5年から本格的に練習に打ち込み、中学時代から現在に至るまで平日に自主練習、休日に

「最後の1球を投げるまで勝負は分からない。勝っていても1球で試合の状況がガラリと変わってくる」とペタンクの面白さと難しさを語る加藤さん。アジア選手権は来年夏ごろスイスで開かれる世界大会への日本の出場も懸かっており「緊張して力みすぎず、リラックスして戦いたい」と話している。

(岡田みなみ)